

仙台市議會活動報告

くろまつ

発行人
仙台市議会議員(若林区)
相沢 和紀
(社民党仙台市議団所属)
[事務所]
仙台市若林区上飯田2丁目3-63
TEL(兼FAX)022-781-0650
[HPアドレス]
<http://aizawa-k-sigi.net/>

市民のための政治実現へ

小選挙区制度になって23年が過ぎました。“政権交代”がより可能になるため！との理由で変更されたのですが、当初から『死票』が増え、多様な意見が国政に反映できないとの声も多くありました。折しも政党再編の渦中にあり、乱暴な議論の中での決定でした。背景には“保守2大政党論”があり、穏やかな政権の交代を容易にし、一定の範囲内での政策遂行が望ましいとするものです。今回の解散総選挙はまさに保守2大政党政治に舵をきるか？が問われた選挙でした。



また、安倍政権の“驕り”そして“暴走”に対してストップをかける戦いでした。そのためには「小異を捨てて大同に付く」ことが求められたことも事実です。そこで東京都知事選、都議選で連勝した《小池人気》を活用しない手はない！との思いが前原氏にあったと思います。しかし、『排除します』の一言が流れを変えました。元々、小池知事は自民党に席を置いていた方であり、選挙は保守の中での権力争い、ポジションを決定する装置としか見ていないのではないかでしょうか。

選挙結果は、自民党と公明党が若干議席を減らしたものの、憲法改正の発議に必要な「2／3」を維持しました。しかし、自民党内には“安倍1強”への不満が出ており、総裁選も含め目が離せません。そのためにも“モリ・カケ”問題を含めた「お友だち政治」、「忖度政治」の徹底追及が求められています。

これからのおすすめ日程

11月17-18日

・食とみどり・水を守る全国集会

11月20日(日)

新庄會場調查

11月21日(火)

· 総務財政常任委員会

11月24日(金)

・「仙台の夕べ」出席

11月30日(木)

· 第4回定例

12月 1 日(金)

・新庁舎&議会棟調査特別委員会

12月4日(月)

・いじめ問題調査特別委員会

12月7日(木)

· 第四回定例

12月26日(火)

地域の再生と市政発展に全力投球

日本国憲法の前文には、「そもそも国政は、国民の厳肅な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。」とあります。民主主義の原点である“市民の、市民による、市民のための政治”をしっかりと肝に命じ、地域の課題解決や仙台市政の発展に向けて全力で頑張る決意です。

ミズ08さやか

◆第4次安倍内閣
8月に内閣改造を行ったものの、国会審議が行われることなく解散総選挙挙。全員が留任となつた。「働き方改革」を掲げていてが、どれほどの仕事をしてきたのか。◆総理は、国会答弁で雇用者総数の伸びを幾度となく示し、景気回復を強調した。しかし、内実は非正規雇用の伸びであり、景気回復を肌で実感できるものになつていない。

◆資本主義経済では、格差が拡大することは必然である。だからこそ、適正な税制度と各種の事業によって、地域や国民の生活を守ることが、国と自治体に課せられている。決して「お友達」のための内閣ではない！

第3回定例会 決算等審査特別委員会質疑

床の洗下など現場調査を基に

第3回定例会(9月11日～10月12日)は、一般会計補正予算(案)と2016年度の一般会計・各企業会計等の決算等を審議しました。補正予算ではご当地ナンバープレートの図案募集等に関する予算等が計上されました。最終日には全ての議案を可決し、閉会しました。

今議会は、郡新市長にとって最初の定例議会であり、所信表明に対する質疑や議会への対応姿勢が問われました。野党(自民・公明)からは衆議院議員時代の発言にとどまらず、アナウンサー時代の言動についても追及が行われています。

相沢議員は、決算委員会において消防局六郷分署の整備と効果について、小中学校の屋内運動場と校庭暗渠排水設備の整備促進について、更に市中心部の渋滞解消策について質疑しました。

(質疑の要点のみを整理して記載しました。)

機動性の向上などで効果が確認

相沢 本年4月に六郷分署が開設された。消防署という特異な建物であることから、一部の設計変更などが予想される。また、労務単価や資材単価の変動は以前より小さくなつたといえ、工事完了までの間に契約金額の変更などはなかつたのか、伺う。

消防局 全体の落札率は89.2%。契約変更は建築で1533.6万円、電気で18.1万円、設備で268.4万円が増額となった。尚、車両13台のうち10台は従来からのものを使用している。

相沢 今回の六郷分署の機能拡充を伴つた整備は若林区内の施設配備という点でバランスの取れたものとなつたと考える。4月以降、実際に運用されている中でどのような効果が出てい

影響がでている。また、特別機動救急隊も強化され、さらに地理的な条件もあり機動性が高まつた。



生徒の安全性を優先し、改築を求める

相沢 屋内運動場が震災以降の6年間で改築されたのは、震災復旧となった六郷小を含め小学校が3校、中学校が1校のみ。文部科学省が示している財産処分の基準「34年」は従前どおりなのか伺う。また、フロア一面積が500m²を下回る古いタイプの屋内運動場は1970年築の八本松小を筆頭に24校で今尚使用されている。教育環境の点でも大きな課題であり、今後の整備スケジュールを伺う。

教育局 基準は変わっていない。老朽化に対応して修繕や改築の検討をしているが、具体的な整備スケジュールを示すものに至っていない。

相沢 コンクリート床にウレタンゴムを張った運動場は小学校が19校、中学校は11校で使用されている。床の固さが児童生徒の成長に影響を及ぼす恐れや災害時に指定避難所として活用されることから早急に改修または改築を求める。特に問題と考えるのが六郷中の屋内運動場です。床の凹み・沈下を測定した。その値は7.5cmであった。床の凹み・沈下は各種の競技に影響を及ぼす。室内競技、特にバドミントンでは非常に大きな問題となる。過大

改築などを迫る

六郷中の屋内運動場は築35年を経ており、費用対効果を考えれば早急な改築がすべきと考える。併せて同タイプの屋内運動場全てについて、早急に調査すべきと考える。

教育局

30校の床改修は行っていない。沈下の状況は、好ましい状況ではない。また、競技への影響も公式試合等で異なる条件となり好ましくないと認識している。同校の今後については、個々の事情も考慮して長寿命化方針に沿って、総合マネージメントプランの中で検討していく。

相沢

この間、学校の校庭整備等の予算が圧縮されている。校庭の排水が非常に悪く、運動会などで大変苦労した思い出もある。現時点で暗渠排水設備が施行されている学校は何校となっているのか伺う。

暗渠排水設備を設置しなくても水はけが良く、支障が出ていない学校もある。各学校の状況を把握し、今後の整備計画をつくるべきである。単に設置済みだから“除外”することなく、しっかりと調査すべきであり、今後の整備方針について伺う。

教育局

小学校は91校、中学校は59校が整備済みとなっている。この間は財政的な制約があるが、緊急的なものについては対応してきた。



屋内運動場（六郷中屋内運動場の沈下した床）

早急に関係者と協議し、左折可実現へ求める

相沢

人口減少社会に転じているが、本市は今しばらく増加が続くと予想される。今後とも市内の通行車両は大きく変動することなく推移



決算委質疑
(交差点の図を示し、改善を求める相沢議員)

する。本年2月の一般質問で、市内中心部の渋滞緩和策として東二番丁通と青葉通の交差点で「左折可」とする専用レーンの設置を求めた。答弁として「バスの走行状況や当該車線への直進車の混入状況の実態を把握し、課題を見極めた上でバス事業者や関係部局と連携しながら検討を行っていく」と言うものであった。具体にどのような検討し、県警など関係機関と協議を行ってきたのか伺う。

青葉区

委員指摘のように、この交差点付近はバス等の流れが悪く、課題があると認識している。県警とは2度の協議をもった。県警からは「車線変更の危険性」が示されている。

相沢

第1車線から直進する車両は極わずかであり、危険性は低い。左折化となれば1回でバス等5・6台以上が通過できる。今後、どのように進めることになるのか、見通しについて伺う。

青葉区

確かに直進車両は少ない。更なる正確な調査を行い、バス事業者等の意見等も把握した上で県警と詰めた協議を行っていく。

相沢

五橋中学校の北側交差点、つまり東二番丁通から東五番町通（愛宕上杉通線）を抜け連坊小路に至る五ッ橋線の渋滞解消についても伺う。この周辺の渋滞要因は、地下鉄東西線建設に関連して木ノ下地区の改善が行われたことで利用者が増えたと分析する。東二番丁通の2・3車線がスタートできない状態となっており、渋滞から事故発生の危険が高まっている。早急に改善すべきと考える。いかがか。

青葉区

連坊へ通じる車両が増えていることを確認している。安全確保は重要であり、詳細な再調査を行い、改善に向けて努力する。

■市議会での主な役職■

- ・総務財政委員会委員
- ・新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会委員
- ・議会広報委員会委員
- ・仙台市名取市広域行政協議会委員
- ・仙台市中央卸売市場運営協議会委員

いじめ問題等対策調査特別委員会

体験を基に実のある研修などの改善を

仙台市議会議員全員（現在52人）で構成する「いじめ問題等対策調査特別委員会」が6月に設置されました。この3年間で発生した3件の「自死」事案の経緯や原因究明などが論議されてきました。

10月4日に開催された第3回の委員会において、相沢委員が質問に立ち、いじめと自死の根絶を強く求めました。

相沢委員は、自身が体験した不登校児への対応や問題行動をとった生徒に対する教師の対応などの事例を紹介し、①最初の自死事案の後、数多くの会議や研修会が行われてきたにも関わらず、2件目、そして3件目と何故続いたのか？②研修会の持ち方、生きた事例研究の活用策、③市教委と各学校、そして教師集団の一体性をどのようにつくりだすのか？④担任にだけ任せるとではなくチームワークでの対応などについて質しました。

市教委からは「校長会や各種の研修会の持ち方

について更なる工夫を講じ、学校内全体で対応できる組織にしていく。更に市教委（事務方）を含めた“一体化”に努力し、同一の方向性をもって対処していく。また、都市長からは「第三者検証委等の議論を踏まえ、教育委としっかりと協議して一体となって対応していく。また、条例化も検討していく。」との答弁がありました。



具体的な事例を紹介し、意識変革を求める相沢議員

厳選した185項目の要望書を提出



郡新市長に対して要望書を提出

社民党仙台市議団として、30年度予算などに関する要望書を10月12日に提出しました。その主な項目は、①「(仮称)子どもの権利条例」を制定など条例の制定を求めて7項目 ②被災者の安全確保と生活をしっかりとサポート出来る組織および人員体制など市政運営に関する要望として6項目 ③「非核平和都市」の宣言を行うなど市

民生活に関して4項目。そして具体的な政策・予算要望として、全市対象として7課題91項目と各区に関わるもの77項目です。（若林区は14項目）

若林区の要望には、新たに①荒井西および荒井南地区土地区画整理地内の交通安全を確保するため、信号の設置や道路への安全表示などをを行うこと。②貞山運河西側堤防のサイクリングコース再整備に加え、荒井駅↔震災遺構の「荒浜小学校」、および名取川河口部↔宮沢橋の間についてサイクリングコースとして整備すること。を追加しました。

各議員が日常活動の中で問題点を把握したうえで、会派として丸1日の集中討議を行い、要望項目および内容を厳選したものです。今後、国の新年度予算の動向を加味しながら予算編成が進められ、新年度予算を審議する第1回定例会の前に回答される予定です。